月 日

国語（助詞④）

㊍ 主に文の終わりに付いて、話し手の気持ちなどを表す助詞を終助詞という。

Q 次の文の終助詞に、――を書こう。

① その本を読むな。

② いっしょに行こうね。

③ 弟よ、がんばってくれ。

④ それを貸してくれないかしら。

⑤ 次の――線部の中で、同じ意味・用法のものを二つ選ぼう。

ア 彼女も行くだろうか。

イ なるほど、そうだったのか。

ウ そんなことがあるものか。

エ これは彼が書いたのですか。

© 葉一「とある男が授業をしてみた」http://www.19ch.tv